



会派みどり
山本 正信

市長の基本姿勢について

【質問】 前田市政の1期目の公約で農政部を復活させ、2期目には前副市長の提案で再び部の統合が行われて産業振興部として再構築されたが、統合の成果について伺う。

【答弁】 本市の基幹産業である農業を基軸として農商工連携を一層強化し、農業分野での企業連携などによる雇用創出をより推進するものです。部内において基本の農業は農政課で農商工連携や農業関連産業誘致を担う産業振興課と連携を図りながら進めているところです。現在、夕張ツムラやJAたきかわ青年部によるニンニク栽培など徐々に成果が表れています。

ライスセンター改修問題について

【質問】 ライスセンターの改修について、JAたきかわ独自の改修を考えているようだが、市として改修に対する補助を考えているのか伺う。

か伺う。

【答弁】 開設以来20年が経過し、機械設置の改修が必要になっており、空知総合振興局とも協議を重ねていますが、施設の単純更新の補助メニューは現在ない状況です。なお、改修費用はJAたきかわが負担する委託契約になっており、現時点では市としての独自補助は考えておりませんが、引き続き国などに要請を続けていきます。

急激な規模拡大による農繁期の補助労働者不足について

【質問】 IT・スマート農業が導入されつつある中、水稻では田植えなどどうしても人手が必要な作業があるが、外国人研修生の受け入れを考えているのか伺う。この場合、長期雇用のためには通年農作業がある施設園芸などを再構築する考えについて伺う。

【答弁】 外国人技能実習制度の活用を考えJAたきかわとともに制度の可能性について検討していきます。長期雇用対策としての施設園芸の可能性についてもみ殻ボイラーの活用など通年栽培ハウスの導入などを検討していきます。



新政会
井上 正雄

滝川市制施行60年記念事業と市史編さんについて

【質問】 今年の市制施行60年、また2年後の滝川市開基130年の違いと市史編さんの必要性について考えを伺う。

【答弁】 それぞれにその歴史的背景や設置意義が異なることから、それぞれの節目を一つの契機として市民と行政が力を合わせて新たな一步を踏み出す年と考えています。また、現在、平成時代の市史編さんが必要と考えて、基礎的データを整理しているところであり、今後全庁的に取り組んでいく必要があると考えています。

道営土地改良事業について

【質問】 本事業の全容と東滝川地区の農業用河川（小野川・宮下川・大曲川・ボンクラ川）の改修要望について、事業に反映されるのか伺う。

【答弁】 本事業は平成20年に採択さ

れ、41年まで合計で332億円の事業で、夏期施工も進んでいます。地域整備構想支援事業では、農業用河川改修の有無について調査を行い、引き続き関係機関と連携して進めています。

東滝川地区について

【質問】 当地域は、市の都市計画マスタープランにおいても本市の三極の一つに位置付けされており、地域を総合的に考えた地域づくりが必要と考える。

特に、現存する旧東栄小学校の校舎の有効利用、東滝川地区の公営住宅の空き家対策と早期の住宅施策また保育所の再開など当面の課題をトータルで解決する必要があると思うが考えを伺う。

【答弁】 連合町内会を中心に地域自ら協議の場を持ち発刊された報告書「つむぐ」ほろくら郷構想があり、行政としても地域の取り組みとあわせて支援を検討していきます。

旧東栄小学校の校舎については、民間活用を基本に、解体については、解体後の跡地利用なども考慮しながら判断していきます。